SUNDAI KOFU

愛情教育実るオール駿台

「愛情教育」を建学の精神に掲げる学校法人駿台甲府学園（甲府市塩部２丁目、山﨑善久理事長）は、小中学校・高校の12年間にわたる一貫教育を実践している。２年後には中学校舎を高校がある塩部キャンパスに移転する予定で、これに先立ち中高そろっての新たな行事も企画。一方で小学校も含めたさまざまな取り組みも進んでいて、児童・生徒のさらなるチャレンジング・スピリットを育んでいる。

駿中高・八田政久校長に聞く

手厚い教育環境整備へ 中高連携事業スタート

八田政久校長

就任から3年目を迎えた駿台甲府中・高の八田政久校長に教育方針などを聞いた。

◇

―現役生が東大の推薦入試に合格しましたね。

「推薦といえども狭き門。小論文、面接試験のほか、センター試験も受験しなければなりませんでしたが、生徒は本当によく頑張りました。新聞スクラップコンクールへの参加や、20年続く学校独自の小論文コンクールなど、生徒自らが考え、表現できる力を養ってきたことは間違っていなかったと確信しました」

―教育方針は。

「大切にしているのが『深い学び』『コミュニケーション能力』『自ら調べ、自ら学ぶ力』を育むことで、社会に通用する人材の育成を目指しています」

―具体的には。

「本年度入学生からスタートしたコース・フィールド制もその一つです。学力の3要素となる思考力・判断力・表現力は付け焼き刃では身に付きません。オール駿台の英知を駆使し、生徒たちを育んでいきます」

―コース制の内容は。

「世界トップ100大学を目指す『スーパー』、競技力向上を多角的にとらえる『アスリート』、ヒューマニティーズ、グローバリゼーション、メディカル、ナチュラルサイエンスの四つのフィールドを設けた『コア』の3コースを設定。これまでは2年進級時に理系・文系に二分し、そのままでしたが、各種体験を通して1年3学期に仮登録し、2、3年の各進級時に選択できる環境を整えました」

―コース制の成功には教師陣の教授力が求められますね。

「日々努力しています。その一環として駿台本体の顧問でもある荒瀬克己氏を招いた教員セミナーも開きました。荒瀬氏は普通の公立高校だった京都市立堀川高を、わずか3年で国公立大現役合格者を急増させ、進学校に変えたなど『堀川の奇跡』という言葉を世に知らしめた当時の校長。背景には教師たちの教授力があり、鍵になったと言います。興味関心が多種多様に広がる生徒たちに寄り添えるよう、一丸となって努力していきます」

―中学棟の青写真ができてきましたね。

「地上6階建てで体育館は中高兼用。最上階には450人収容のホールを設けます。面倒見の良い学校、生徒一人一人に目の届く学校として職員室も中高合同で設置。教員間で情報交換が密に取れる環境を整え、一丸となって生徒たちの学力および心身の成長を促していきます。今年の9月には小瀬スポーツ公園で初の中高合同体育祭を開催するなど行事も併せていきます。当たり前のことですが、学校は生徒のためにあり、柔軟な対応で生徒たちを育んでいきます」

塩部キャンパス移転後の駿台甲府中学棟完成予想図

駿小・坂本宏行校長に聞く

競争から学ぶ向上心 体験重視、心と体育む

坂本宏行校長

就任4年目を迎えた駿台甲府小の坂本宏行校長は2年後の中学校移転を見据え「塩部キャンパスの見学を増やすなど一層の連携を深めるとともに、これまで以上に5、6年生の自立を促す指導に努めていきます」と話す。

これまでは、同じキャンパス内に中学生がいることから授業やクラブ活動の見学もスムーズで、「中学生の後ろ姿を見ながら年齢、学年に応じた成長を自然と学んできました。移転後は、小学校内での学び方がこれまで以上に重要となってきます」。

学びを深める体制づくりとして教員間の連携をこれまで以上に強化。「小中高の教員が集まり、12年間のプログラムを再構築する教科会を7月から実施していきます。一方で、これに先立ち、駿小では4月から1～6年まで、教科ごとに縦割りの教授力の強化を目指した校内研究会を始動させました。個々の進度に合わせたきめ細かい指導力の向上、指導法を目指しています」と話す。

国際化する社会に合わせ、英語の授業は全学年で週3時間を確保。ネーティブ教師たちによる授業のほか、5、6年生は週1時間、駿中から英語教師が来校して授業を行うなど連携を図っている。また、算数は少人数制を実施。総合的な学習の時間を活用し、理論的思考の養成を視野にロボットとipadを使ったプログラミングの授業も本格的に導入していくという。

競い合うことから生まれる児童のチャレンジング・スピリットをうまく活用したのが4～6年生を対象にした『漢字相撲』と『計算力コンテスト』。「成績は公表しています。できなければ次に向けて頑張りますし、好成績が残せたら次も頑張ろうという気持ちになるのが子どもたち。頑張っている子を褒めて伸ばすことは重要ですし、たとえ失敗し、負けたとしても乗り越える術、心に折り合いを付けて気持ちを切り替え、頑張る術を子どものうちに体験しておくことはとても大切です」

自らも高校野球で活躍したなど、健康であることの重要性を認識する坂本校長は「スポーツも勉強も基本は体であり健康。給食も導入していますが、好き嫌いなく食べるといった食育も重視しています」。縦割り班対抗で、仲間と協力し、競い合う駿小チャレンジカップや各種スポーツ教室、農園活動なども含め、さまざまな体験活動を通して心身の健康を育む。「メリハリのある学校生活を通し、心豊かな子どもたちの成長を促していきます」と話している。

東京大文科三類１年 星合耀子さん

狭き門・東京大に推薦合格

表現力に磨き 学校に感謝

「２日にわたり行われた最終試験では直前まで、東京の予備学校校舎で石川先生や予備学校の先生方にもアドバイスいただき、本当に感謝しています」と話す星合耀子さん

「踏み込んだアカデミックな内容が学べて毎日が本当に楽しいです」。東京大の推薦制度を利用し、駿台甲府高から現役合格し、文科三類に入学した星合耀子さんは笑顔を見せた。同大の推薦制度は2016年度にスタートし、文学部に初年度は全国から13人が挑み、合格者はわずか3人。本年度合格者も13人中わずか4人の狭き門だったが、「駿高の先生方をはじめ、駿台予備学校などオール駿台の後押しのおかげです」と目を細めた。

臨床医であり、研究者としても頑張る母親の姿を見て育ち、ジャンルは違ってもいつかは研究者の道へ進みたいと思っていた星合さんが、東大の推薦制度利用を考え始めたのは2年の半ばごろ。現代文の授業で駿高指導監でもある石川博教諭の話を聞いてからだったという。

推薦は受験資格が厳しい上、第一次審査として事前に論文を提出。最終試験は小論文のほか、論文をベースにしたプレゼンテーションや質疑応答、加えてセンター試験で8割以上の正解率が求められるなど、準備に時間を要するものばかり。「合否の選択基準が明確になっていず、ある意味では一般の受験より厳しいのが実情」（石川指導監）だった。それでも、星合さんは「鍵は表現力と考えました。表現することは嫌いではなく、3年進級時にチャレンジすることを決めました」と話す。

旺盛なチャレンジ精神

山梨大附属中時代は2500冊以上を読破したという自他共に認める"本オタク"。話すことも好きでチャレンジ精神旺盛。両親も好印象を持ったという駿高の「納得受験」という教育方針と、やりたいことができそうという思いから駿高へ進学し、書く機会も増え、表現力に一層磨きが掛かったという。

中学1年の時に家族旅行で訪れたフランスに興味を持った。駿高で約20年続く小論文コンクールでは、フランス西海岸にある世界遺産のモンサンミッシェルの海洋環境復元プロジェクトを引き合いに、世界遺産となった富士山の環境保護を考えて最優秀賞を受賞。今回の推薦入試で提出した論文は自らが書き全国新聞スクラップコンクールで佳作となった「ウクライナの現状とロシア」を事例に、対立のない寛容な世界を目指すには、過去の歴史研究に学び、つくり出す新しい「国家」の概念が必要だと論じた。

石川指導監は「知識も豊富で自分の考えを持ち、言葉にできる星合さんは十年に一人の逸材。しかし、単純に東大で研究したいというだけでは受かりません。東大出身の駿高教師ともじっくり話し合い、論文にもストーリー性を持たせるなど対策を練りに練り、星合さんもよく応えてくれました」とたたえた。

「『開かれた大学』を目指す東大にとって、星合さんは面白い存在になるはずです」と語る石川博指導監（左）＝いずれも甲府市内

恵まれた学ぶ環境活用

星合さんは「多くの人に感謝しています」と満面の笑み。駿高時代を振り返り、その魅力を「学習環境と同じ志を持った仲間、経験豊富で自ら勉強好きなマニアックな教師陣」を挙げる。受験のためだけでなく真の学問を教えてくれる内容の濃い授業はもちろん、東大を目指すセミナーや講習会があるほか、駿台予備学校の有名講師の講座を駿高にいながらにして受けられるサテネット21もあり、「大いに活用しました。駿台予備学校のセンター試験分析にも助けられました」とも。在校生に向けては、「自分が望めば応えてくれるのが駿高。専門的なことが学べる大学は本当に楽しいだけに、第一志望を諦めずに頑張ってほしいです」とエールを送っていた。

2017年度 駿台甲府高大学合格実績

※（ ）内は現役合格者数（駿台甲府高調べ）
◆卒業総数 294名（4月5日現在）

国公立大学合格実績	合格者数・人
■国公立大学合格者総数	63 (49)
難関10大学合計	11 (9)
医学部医学科合計	8 (3)
大学名	**合格者数・人**
山梨大	29 (21)
◎うち医学部医学科	6 (2)
☆東京大	3 (2)
東京農工大	3 (2)
☆一橋大	3 (2)
☆東北大	2 (2)
千葉大	2 (2)
お茶の水女子大	2 (2)
金沢大	2 (1)
◎うち医薬保健学部医学科	1 (0)
信州大	2 (2)
都留文科大	2 (2)
☆北海道大	1 (1)
秋田大	1 (1)
福島大	1 (1)
宇都宮大	1 (1)
群馬大	1 (1)
横浜国立大	1 (0)
静岡大	1 (1)
☆名古屋大	1 (1)
◎うち医学部医学科	1 (1)
☆大阪大	1 (1)
会津大	1 (1)
首都大学東京	1 (1)
山梨県立大	1 (1)
岐阜薬科大	1 (0)
文部科学省管轄外の大学校	
※防衛大学校	1 (0)
※職業能力開発総合大学校	1 (1)

☆印＝「難関10大学」（北海道、東北、東京、名古屋、京都、大阪、九州、東京工業、一橋、神戸）◎印＝医学部医学科 ※印＝文部科学省所管外

私立大学合格実績	合格者数・人
■私立大学合格者総数	405(293)
早慶合格者合計	24 (15)
医歯薬獣医合計	59 (22)
医学部医学科合計	27 (6)
歯学部歯学科合計	8 (5)
薬学部薬学科合計	20 (11)
獣医学部獣医学科	4 (0)
大学名	**合格者数・人**
東京理科大	18 (14)
明治大	18 (13)
日本大	17 (11)
中央大	16 (16)
慶應義塾大	13 (6)
杏林大	11 (9)
早稲田大	11 (9)
法政大	11 (8)
東洋大	10 (3)
帝京大	9 (7)
立教大	9 (5)
駒澤大	8 (5)
健康科学大	6 (6)
玉川大	6 (5)
明治学院大	6 (5)
國學院大	5 (5)
東京農業大	5 (5)
神奈川大	5 (5)
帝京科学大	5 (5)
山梨英和大	5 (5)
城西大	5 (4)
青山学院大	5 (4)
芝浦工業大	5 (4)
武蔵野大	5 (4)
北里大	5 (3)
上智大	5 (3)
文教大	4 (4)
国士舘大	4 (4)
武蔵大	4 (4)
東京都市大	4 (4)
東京経済大	4 (3)
昭和大	4 (2)
成城大	4 (2)
東京工科大	4 (2)
千葉工業大	4 (1)
立命館大	4 (1)
学習院大	3 (3)
順天堂大	3 (3)
専修大	3 (3)
東京薬科大	3 (2)
山梨学院大	3 (3)
関西学院大	3 (3)
駿河台大	3 (3)
東京造形大	3 (3)
国際医療福祉大	3 (2)
目白大	3 (2)
帝京平成大	3 (2)
津田塾大	3 (2)
東海大	3 (2)
東京工芸大	3 (2)
同志社大	3 (2)
工学院大	3 (1)
東京電機大	4 (1)
東邦大	3 (1)
近畿大	3 (0)
多摩美術大	2 (2)
東京家政大	2 (2)
東京家政学院大	2 (2)
東京女子大	2 (2)
東京女子体育大	2 (2)
日本体育大	2 (2)
和光大	2 (2)
鎌倉女子大	2 (2)
フェリス女学院大	2 (2)
諏訪東京理科大	2 (2)
武蔵野美術大	2 (2)
岩手医科大	2 (1)
成蹊大	2 (1)
大東文化大	2 (1)
拓殖大	2 (1)
自治医科大	2 (0)
埼玉医科大	2 (0)
日本医科大	2 (0)
日本赤十字看護大	2 (0)
東京福祉大	1 (1)
群馬パース大	1 (1)
文京学院大	1 (1)
日本薬科大	1 (1)
日本医療科学大	1 (1)
東都医療大	1 (1)
淑徳大	1 (1)
聖徳大	1 (1)
東京歯科大	1 (1)
千葉科学大	1 (1)
大妻女子大	1 (1)
共立女子大	1 (1)
実践女子大	1 (1)
昭和薬科大	1 (1)
高千穂大	1 (1)
二松学舎大	1 (1)
女子美術大	1 (1)
明治薬科大	1 (1)
立正大	1 (1)
東京医療保健大	1 (1)
ヤマザキ学園大	1 (1)
神奈川歯科大	1 (1)
相模女子大	1 (1)
洗足学園音楽大	1 (1)
桐蔭横浜大	1 (1)
金沢学院大	1 (1)
松本歯科大	1 (1)
常葉大	1 (1)
名古屋外国語大	1 (1)
関西大	1 (1)
四天王寺大	1 (1)
酪農学園大	1 (0)
獨協大	1 (0)
昭和女子大	1 (0)
東京女子医科大	1 (0)
日本歯科大	1 (0)
明星大	1 (0)
湘南工科大	1 (0)
聖マリアンナ医科大	1 (0)
横浜薬科大	1 (0)
金沢工業大	1 (0)
朝日大	1 (0)
藤田保健衛生大	1 (0)
摂南大	1 (0)
川崎医科大	1 (0)
※海外の大学への進学予定	4 (3)

公立短期大学合格実績	合格者数・人
■公立短期大学合格者総数	1 (0)
短期大学名	**合格者数・人**
国立清水海上技術短期大学校	1 (0)

私立短期大学合格実績	合格者数・人
■私立短期大学合格者総数	5 (5)
短期大学名	**合格者数・人**
拓殖大北海道短大	1 (1)
大妻女子大短大	1 (1)
東京家政大短大	1 (1)
実践女子短大	1 (1)
帝京学園短大	1 (1)

※合格者数は普通科・美術デザイン科の合計

高校普通科
学校説明会
7月8日(土)
10:00～、14:00～
両時間とも同一内容、事前申込不要

高校美術デザイン科
オープンキャンパス
7月16日(日)
9:15～12:00
軽食付き、事前申込制

中学校
保護者対象学校説明会
5月25日(木)
6月13日(火)
18:30～19:30
両日ともに時間・内容ともに同一、事前申込不要

小学校
学校説明会
5月20日(土) 10:00～
公開授業
6月24日(土) 9:00～
ともに事前申込不要

[塩部キャンパス] 〒400-0026 山梨県甲府市塩部2丁目8-1
■駿台甲府高等学校 普通科
TEL055-253-6211 FAX055-252-5395
http://www.sundai-kofu.ed.jp/

[今井キャンパス] 〒400-0845 山梨県甲府市上今井町884-1
■駿台甲府小学校
TEL055-244-0411 FAX055-220-2838
http://www.sundai-kofu.ed.jp/elementary/
■駿台甲府中学校
TEL055-243-5200 FAX055-243-5202
http://www.sundai-kofu.ed.jp/junior/
■駿台甲府高等学校 美術デザイン科
TEL055-241-5311 FAX055-241-8304
http://www.sundai-kofu.ed.jp/bizyutsu/

〈企画・制作／山梨日日新聞社広告局〉